



～ 夢ひとすじに ～

宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 26 年 度 第 7 号
平成 26 年 10 月 1 日 (水) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「昨日の自分を超越する今日、今日の自分を超越する明日」

校長 やました 山下 せいじ 誠二

3年前の平成23年9月29日、さいたま市立日進小学校6年生の桐田明日香さんが、駅伝の課外練習中に倒れ救急搬送された後、翌30日に死亡するという大変悲しい事故が起きました。当時、教育委員会に勤務していた私は、教育長からの命を受け、遺族と学校の対応にあたりました。当然のことながら、遺族としては、学校の対応への批判。学校側は、動揺している児童の対応、この対応でよかったのかという葛藤。さまざまな状況の中、教育委員会の人間として、遺族に寄り添えば寄り添うほど、学校との関係が開いていくように感じるものが少なくありませんでした。何度も何度も桐田さん宅へ足を運び、話を伺いましたが、当時の桐淵教育長が、単身で遺族宅へ足を運ばれ、「元気に行ってきます」と言って家を出た子供を「ただいま」と帰すことができなかったことへの謝罪があり、それから再発防止に向けての取り組みが始まりました。それ以降、ご両親は、「なぜ？」という思いがありながらも、明日香さんの死を無駄にすることなく、再発防止、そして安全・安心な学校づくりのことを一貫して強調されていたことには、頭が下がる思いでした。翌年の2月26日には、検証委員会の報告記者会見を行いました。この会見は、遺族、学校、教育委員会が、同じ部屋で同時に行うという異例の会見でした。この会見後、事故を巡る対応の在り方について分析し、これを教訓としたテキスト、愛称[ASUKAモデル]が平成24年9月30日に完成しました。このテキストは、国内だけでなく、広く海外からも注目されています。桐淵教育長は「このテキストが日本中の子どもたちの元気な笑顔につながるよう、遺族の皆さまと共に祈ります」と話され、明日香さんのご両親は「このテキストが、みんなの命を守れる存在になってほしい」と強く願っています。現在、宮原中学校のすべての生徒は、AEDを含む心肺蘇生法を行うことができます。遺族の「悲しみの中から前へ進む」、この思いを胸に「安全・安心 宮原中」の合言葉をさらに磨いていきたいと思えます。

さて、「子育ては宝探し」とはよく言われることですが、学校でも家庭でもついつい悪いところに目がいて、小言が過ぎてしまうことは、子どもを持つ親や教師としては、誰でも経験されていることと思えます。しかし褒めて育てることの大切さは言うまでもなく、日常生活のちょっとした場面で、子どもたちの努力や良さを認め、口に出して伝えたいものです。その輝きは「磨かれて輝きを増すダイヤモンドの原石」を思い浮かべたらいかがでしょうか。ダイヤモンドが輝くのは、自分を削って磨き続けた時です。他の石と比べても、自分の輝きは変わりません。自分に磨きをかけ続けることこそが、「昨日の自分を超越する今日、今日の自分を超越する明日」につながるのではと考えています。勉強でもスポーツでも家のお手伝いでも、何かをずっと続けている子どもはたくさんいます。一生懸命取り組む子どもたちの姿に触れるにつけ、これまで知らなかった事を知り、できなかった事が出来る瞬間、きっとダイヤモンドのように輝きはじめるその時を想います。「昨日の自分を超越する今日、今日の自分を超越する明日」。明日香さんのご両親もこのことを想い、前に進んでいます。何かの失敗をした生徒でも、前に進めるような、そんな宮原中学校でありたいと願っています。

